

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表		2020年3月31日	事業所名			ベストサポート株式会社 重症心身障がいサポートセンターひばり	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○			児童指導員を加配しより安全で個別性の高い支援に努めている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○				手洗いやトイレなどに工夫が必要である トイレトレーニングや手洗い習慣を身につけられるよう工夫したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者向け評価表はわかりやすいものを作成することを検討したい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今年中に第三者による外部評価の実施を目標とする
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社外研修の案内や職員の推薦 社内新任研修や現任研修、動画配信 業務改善発表会、事例検討会の開催を行っている	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			KIDS 遠城寺式 障害特性シート など	必要に応じて使用しているがすべての児童に定期的実施を目標としたい
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月2回のガラス会議で検討し立案している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			月案、週案を作成し児童の特性や季節によるプログラムを計画している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			個別のリハビリ、知育・感覚・運動活動のほか、音楽療法士による集団プログラムや個別プログラムを組み合わせで計画している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼や業務分担ボードで見える化し確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				送迎、清掃、記録などで集まりにくい現状がある。日中速やかに気づいた点を記録し、支援に反映できるよう工夫したい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて病院での担当者会議、診察、コメディカルとの情報交換に積極的に参加している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			サポートファイルを活用し緊急時の連絡・対応の確認のほか、災害時に備えをしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			認定こども園や保育園への訪問を積極的に行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			開業3年目で経験が少ないため、児童に合わせた個別支援を通して経験を積む必要がある	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		保育園訪問や行事見学など今年中の実施を目標とする
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育てで会議等積極的に参加している	○			在宅医療ケア部会に参加しサポートファイルの普及に努めている	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			○		ペアレントトレーニングについての研修実施を半年内に実施することを目標とする
保護者 への説明 責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			○		保護者相談については非定期で個別相談である
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		年度内に保護者会の実施を計画することを目標とする
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○			年2回の祭事、運動会その他を企画し地域住民にも広報している	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			医ケア児利用のため自家発電機を備え大規模災害にも対応できるようにし、災害を想定した訓練を週している	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		これまで身体拘束を検討するような児童の利用がない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ベストサポート株式会社 重症心身障がいサポートセンターひばり
------	--------------------------------

保護者等数/児童数	12
回収数 [割合 %]	8 [66.7%]

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	6	1		1		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	6			2		重要事項説明書を丁寧に行い基準配置や加配していること専門職の紹介などを行っていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1		1		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	7	1				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6	1		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2		2	4		
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4		1	3		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	6	1	1			
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	5		3			ペアレントトレーニングについては研修を通して職員の知識を高めて実施していきたい
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	1				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5		2	1		保護者の困りごとやお悩みをお聞きする時間が十分とれていないため、今後の課題とし取り組んでいきたい
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	1	1	4		父母の会、保護者会の開催ができていない。年間計画に盛り込み保護者のご要望も確認しながら行いたい
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7		1			
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7		1			
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5		1	2		ホームページだけでなく結果を文書で発信していくようにしていく。会報についても滞らないように毎月の発行を行っていく
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	7			1			
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	5			3		事業所内で整備しているマニュアルの一覧や、訓練の実施について会報で公表していくようにする
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			5		年2回の訓練について会報で公表していく
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	8				毎日とても楽しそうに通ってうれしそうにしています	
	23 事業所の支援に満足している	7	1				

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。